

次世代育成研究・児やらい

特集:スウェーデンの子育て支援



尚絅短期大学子育て研究センター

第4巻 2007年

はじめに

平成19年度に厚生労働省は、子育て支援に関する政策を大きく転換しようとしている。具体的には、従来の「つどいの広場」及び「地域子育て支援センター」をひろば型（出張ひろば）・「センター型」・「児童館型」に再編しようというのである。その再編後の目的は、従来の「ひろば型」のねらいとほぼ一致している。このことは何を意味しているのであろうか。今後、再編のねらいや再編後の支援の方法を検討していかなければならないであろう。

このような子育て及び子育て支援の変動期に、日本の現状を外国の視点から見たらどのような姿に映っているかを知ることは意味のあることであろう。言い換えれば、外国の子育て及び子育て支援を鏡として日本の現状を捉え直すことができるのではないかということである。

幸い、平成18年度に子育て研究センターで、スウェーデンの教育・社会学者であるブライアン・アッシュレー氏を招聘することができた。そこで、児やらい第4巻でスウェーデンの子育て支援を特集することになった。ブライアン氏は、スウェーデンの子育て支援の指導的立場にある人で、彼の日本の子育て支援に関する提言は示唆に富むものである。

さらに、津田塾大学から新しい視点からの自主保育に関する論文及び熊本の子育て現場からの臨床実践に関する論文を掲載することができた。

子育ての実践に携わっている人々の理論や実践の支えになることを願い、また、子育て及び子育て支援に関わる人々から忌憚のないご意見・感想をいただければ幸いである。

子育て研究センター長

浜崎幸夫

目 次

はじめに	1
浜崎 幸夫（子育て研究センター長）	
I 特集：スウェーデンの子育て支援	
1 スウェーデンと日本の保育システムと子育て支援（公開シンポジウム基調提案）	3
—親と子の発達保障の視点から— ブライアン・アッシュレー（スウェーデン教育・社会学者）	
2 スウェーデンの子育て支援原理とスタッフ養成	16
浜崎 幸夫（子育て研究センター）	
3 スウェーデンの子育て支援から学ぶこと	26
—ブライアン氏の提案を受けて— 中村 真弓（子育て研究センター）	
4 スウェーデンの子育て事情	28
青木 理子（子育て研究センター）	
5 ブライアン・アッシュレー氏の親支援の考え方を受けて	30
—保護者養成の課題— 竹下 昭代（子育て研究センター）	
II 論文	
1 子どもとともに育つ	33
—1885年から1990年における世田谷区の自主保育の実践から— 岡佐 保里（津田塾大学国際関係学科ウエルネスユニット） 三砂ちづる（津田塾大学国際関係学科）	
2 親支援モデルによる親の発達過程のとらえ方	40
柴田 恒美（N P O 法人子育て談話室）	
3 児童虐待対応を通して保育・教育現場に期待すること	45
堀内香代子（熊本県福祉総合相談所）	
III 研究ノート	
1 平成18年度総合演習報告	53
中村 真弓（子育て研究センター）	
2 学生の人権意識を高める	57
—C A P ワークショップを通して— 谷口 卓（子育て研究センター）	
IV 第6回子育て研究センター「公開シンポジウム」記録	
1 テーマ及びコーディネーター紹介	60
2 基調提案者紹介	61
3 シンポジスト紹介	62
4 ブライアン・アッシュレー氏新聞掲載記事	65
スウェーデンと日本の子育て支援（上）（中）（下）	